

分かる^{わか}と快感^{かんかん}!

かい

Z会ナビ

算数^{さんすう} ▶ 理科^{りか} ▶ 社会^{しゃかい}

お題^{だい}

そこにはない現実^{げんじつ}を感じる^{かん}

VR^{せかい}の世界

「Z会ナビ」が
Webサイト
でも読めます!



Z会おとナビ新聞 検索

これまでの内容も掲載しています!

電子機器^{でんしきき}を使って疑似的^{ぎんじてき}に再現^{さいげん}できる感覚^{かんかく}を、すべて選^{えら}びなさい。

① 視覚^{しかく} ② 聴覚^{ちやうかく} ③ 嗅覚^{きゆうかく}
④ 味覚^{みかく} ⑤ 触覚^{しゆかく}

バーチャルリアリティーとは

VRという言葉を知っていますか? 2年ほど前から、VRゲーム、VR体験、VR動画などの言葉で一般に知られるようになりました。VRとは、英語の Virtual Reality (バーチャルリアリティー) の頭文字で、日本語では「仮想現実」「人工現実感」などと訳されます。

VRを体験する人は、VRヘッドマウントディスプレイやVRグローブを着けることで、コンピューターが合成した映像や音、手触りなどを感じます。その結果、それらの刺激が存在する世界に入り込んでいるような感覚を味わうことができます。この感覚を手軽に得やすい「視覚」と「聴覚」を中心に、香りやにおいを感じる「嗅覚」、手触りや衝撃などを感じる「触覚」、さらには味を感じる「味覚」といった五感に訴えかける技術が、次々と開発されています。

使い道はいろいろ

VRの技術は、ゲーム、教育、医療、宣伝など、さまざまな分野で応用されています。たとえば教育業界では、「視覚VR」や「聴覚VR」を使って、危険な実験を体験してその対処法を学んだり、整備士や医師などの専門的な技術を効率よく伝えたりということに活用されています。狙いどおりの刺激を与えるのが最も難しいと



イラスト・瑞木匠

補おうとする性質があるので、それによってさらに再現のリアルさは増します。

VRで健康になる!?

「味覚VR」では、「視覚VR」や「嗅覚VR」との組み合わせにより、低カロリーで少量の料理を食べながら高カロリーで大盛りの料理を食べるVR体験をすることで、満足感を得ながらダイエットをしたり、薄い味付けの料理を食べながら濃い味付けの料理を食べるVR体験をすることで、ストレスなく塩分や糖分の摂取を抑えたり、といったことが可能になります。また、食物アレルギーのせいで好きな食べ物を食べられない人は、アレルギーを引き起こさないものを食べながら、アレルギーを引き起こすけれど好きなものを食べるVR体験をすることで、その食材を食べた気分を味わうことができます。

(Z会・杉田真希)

五感に訴える

言われているのは「味覚」です。「味覚」で感じるものには、甘さ、苦さ、塩辛さ、すっぱさなどがあります。ただし、ものの味は「味覚」だけで感じているのではなく、風味は「嗅覚」で、辛さは「痛覚(触覚と同じ、皮膚感覚の一種)」で、食感(咀嚼)は「触覚」や「聴覚」で……といったように、複数の感覚で感じ取っており、とくに風味は味の大部分を占めていると言われている。つまり、味覚以外のいろいろな感覚を組み合わせれば、味覚という感覚そのものを刺激しなくても、まるで味覚を感じているように疑似的に再現することができます(正解は①②③④⑤)。しかも、私たちの脳は、実際には感じていない感覚をも

! 今回の教訓

VRは、私たちがいろいろな事情でできないことの疑似体験を通して、生活の質や満足感を高めることが期待されています。そのうち、再現できる感覚が現実のものに近づきすぎて、何が現実で何がVRなのかわからなくなってしまうかもしれませんね。



杉田真希さん 2011年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。スキューバダイビングが好き。1983年東京都板橋区生まれ。博士(理学)。